

## 1. 略歴

- 1993年3月 一橋大学社会学部卒業  
1994年4月 東京大学大学院 社会学研究科社会学専攻 修士課程入学  
1996年3月 同 人文社会系研究科社会文化研究専攻 修士課程修了  
1996年4月 同 博士課程進学  
2001年3月 同 博士課程単位取得退学  
2001年4月 博士(社会学)学位取得(東京大学)  
2001年4月-2007年3月 立命館大学産業社会学部助教授  
2005年9月-2006年9月 フランクフルト大学社会研究所客員研究員  
2007年4月-2008年3月 立命館大学産業社会学部准教授  
2008年4月 明治大学情報コミュニケーション学部准教授  
2011年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

理論社会学 社会学史研究

### b 研究課題

- (1) 社会学における理論と実践問題
- (2) フランクフルト学派の理論史

### c 主要業績

#### (1) 著書

共著、Takeshi Deguchi、『Routledge Companion to Contemporary Japanese Social Theory』、Routledge、2013.

#### (2) 論文

出口剛司 (Takeshi Deguchi)、『Critical Theory and its development in post-war Japanese sociology: pursuing true democracy in rapid capitalist modernization』、『(書名) Routledge Companion to Contemporary Japanese Social Theory: From individualism to globalization in Japan today』、pp. 40-62、2013 ((1)著書を参照)

出口剛司、『文化産業論再考—ミメシスと大衆欺瞞のはざままで—』、『社会学史研究』、第35号、pp. 13-29、2013.6

#### (3) 書評

藤田哲司、『権威の社会現象学』、『現代社会学理論研究』、第6号、2012.3

#### (4) 解説

出口剛司、多賀太氏「教育する父親の時代? : ジェンダーと階層をめぐる家庭教育のポリティクス」、『ジェンダーセンター年次報告書』、2012年度、2013.3

出口剛司、筒井淳也氏「国際比較のなかの結婚と女性労働」、『ジェンダーセンター年次報告書』、2013年度、pp. 15-17、2014

#### (5) 学会発表

国内、出口剛司、「文化産業論再考 : 大衆欺瞞とミメシスのはざままで」、ポピュラーカルチャーと社会学的思惟、千葉経済大学、2012.7.1

国内、出口剛司、「Critical theory and Democracy in Japanese theoretical sociology: Beyond reconstructive approach」、内外から見た日本の現代社会理論 A. エリオット教授を招いて、千葉大学、2012.11.24

国内、出口剛司、「Reappraising Keiichi Sakuta's Sociology of Values: Beyond Galapagosized Sociology to a General Sociocultural Theory of Solidarity」、日本社会学理論学会 日韓共同企画「現代社会学の焦点—日韓における社会理論の現在と未来」、成城大学、2013.9.7

国内、出口剛司、「批判理論における正当化と理論実践—フレイザー=ホネット論争再考—」、日本社会学会 テーマセッション「社会学理論への時代の要請/時代の要請の社会学理論」、慶応義塾大学、2013.10.12

国際、出口剛司、「The Great East Japan Earthquake and its Underrepresentation: Sociology of Literature after the great disaster」、States of Emergency: the emotional costs of global disasters and regional emergencies、University of South Australia、2014.3.20

(6) 研究報告書

出口剛司、「社会学の公共性とその実現可能性に関する理論的・学説史的研究」、平成 23 年度成果報告書（基盤研究 (C)）、2012.3

出口剛司、「社会学の公共性とその実現可能性に関する理論的・学説史的基礎研究」、平成 24 年度成果報告（基盤研究 (C)）、pp.23-39、2013.3

出口剛司、「社会学の公共性とその実現可能性に関する理論的・学説史的基礎研究」、平成 25 年度成果報告書（基盤研究 (C)）、p.14-22; pp.42-48; pp.76-83、2014.3

(7) 会議主催(チェア他)

国内、「日本社会学会大会テーマセッション」、チェア、実践からの社会学理論の生成と変化Ⅱ、2012.11.3

**3. 主な社会活動**

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、早稲田大学文化構想学部、「不死の様式」、2012.4～2013.9

非常勤講師、法政大学大学院社会学研究科、「社会学研究法 1」、2012.7～

非常勤講師、明治大学大学院情報コミュニケーション研究科、「社会的人間論」、2013.4～2014.3

非常勤講師、明治大学情報コミュニケーション学部、「コミュニケーション基礎」、2013.4～2014.3

非常勤講師、立教大学社会学部、「社会学史」、2013.4～2013.9

非常勤講師、中央大学法学部、「現代社会学理論」、2013.9～2014.3

(2) 学会

国内、日本倫理学会、一般会員、2012.4～

国内、日本社会学会、研究活動委員、2012.4～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く) 委員・役員

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター、運営委員(学外委員)、2012.1～2012.3